



議 会 だ よ り

あ
さ
ひ
む
ら

ま
な
ん
で
や
ま
ず
「**不学息**」の精神、
つなぐ150年

開校150年を迎える朝日小学校では、先日の運動会で全校ダンスが復活しました。総勢200名余の子供たちが空を切り振る旗の音が、しんとした会場を満たしました。ダンスが終わるとあちこちから、当時過ごした小学校時代の思い出話が溢れ、長きにわたる歴史を共有した善き時間となりました。

も
く
じ

- 6月定例会 2
- 全員協議会 3
- 委員会報告 4
- 一般質問 村政に問う 5-9
- 議員活動報告・議会活動日誌 10-11
- 村民の声・我がむら再発見・編集後記 12

●「議会だより」第53号
 発行日／2024年7月31日
 発行／朝日村議会
 〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村
 大字古見1555番地1
 TEL. 0263-99-2001 (代)
 FAX. 0263-99-2745
 Eメール: gikai@vill.asahi.nagano.jp
 印刷／日本ハイコム株式会社

全員協議会

4月10日

- 令和6年度役場組織体制
- 西洗馬防災センター指定管理者の公募について
- 朝日村診療所の進歩について
- 朝日村診療所の進歩について
- 地域エネルギー事業会社設立の検討状況について

「松本平ゼロカーボンコンソーシアム(MZCC)」設立を機に松本市が主体となり計画してきた新たな事業体。地域の再生電力を調達しエネルギーの地産地消を目指す。(朝日村も自治体会員として参加)

- 公民館周辺施設のあり方の検討について

検討委員会での検討結果について報告と令和6年度の進め方について。今後の検討にあたっては若い住民の意見を取り入れて欲しい等意見が寄せられた。

5月15日

- 地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備導入事業について

役場庁舎への再生可能エネルギー導入事業。地域のレジリエンス(災害等に対する強靱性の向上)と脱炭素化を同時実現。補助金・起債を活用予定。

- 朝日小学校給食室厨房機器更新について
- ガス回転金とスチームコンベクション更新
- 福祉入浴券交付事業及び高齢者補聴器購入費用助成事業について
- 高齢者の福祉入浴券交付事業と補聴器購入費用助成の概要説明。

6月14日

- 「議会力向上委員会」について

議会では、議長から報酬改定の必要性の明確化について諮問を受け「議員報酬審議特別委員会」を設置。その後、委員で検討し「議会力向上委員会」に名称変更することについて全議員の了解を得た。今後、主に議員報酬について検討をしていく。(4ページもご覧ください)

議員報酬については、全国町村議会議長会で設置した検討会で、現在の町村議会議員に相応しい報酬のあり方が検討され報告書が示されている。

7月8日

- 部活動地域移行計画について

中学校での学校部活動が今後地域クラブ活動(団体・民間が運営主体)に移行する。松本市の計画に沿って行われていく予定で、鉢盛中学校議会で検討が進められる。- 東筑摩郡村議会議員大会要望事項について

8月21日開催予定の東筑摩郡村議会議員大会からは「県道新田松本バイパスの古見区間の早期完成について」を要望事項として提出することを決定。

行政視察

6/14

最終処分場の埋め立て状況は

6月14日(金)6月定例会本会議終了後、議員全員で朝日村にある松塩地区広域施設組合最終処分場と県の事業で令和7年から着工を予定している一之沢地区西沢の砂防堰堤建設予定地の2か所を視察しました。

最終処分場は平成18年に使用開始し塩尻市と朝日村の飛灰と一部埋め立てゴミを持ち込んで埋め立ており、埋め立て完了予定は令和15年(2033年)の施設です。議員8人は初めての視察で「降雨後の汚染水の地下浸透に問題はないか?」「汚染水の処理は万全か?」「村の自然環境への影響は?」など熱心に質問していました。



最終処分場埋め立て地

砂防堰堤計画地では、「なぜこの場所に?」「完成後に土砂災害警戒区域は解除されるのか?」「工事中の周辺地域への影響は?」「住民説明会はいつ?」等確認していました。(清沢正毅)

社会文教委員会報告「請願・陳情を審議」

委員会は、6月7日に開催し、慎重に審議した結果、すべて請願・陳情を全会一致で採択すべきものとししました。

教育関連の3件の請願書第1号「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」、第2号「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書」、第3号「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」については、へき地教育を担う人材不足の解消及び自治体間での財政力の差が教育の質の差につながる懸念があること。また、義務教育は国の責任において行われ、等しく教育を受ける機会を確保されることが重要であることから、採択すべき

ものとししました。

陳情第4号「訪問介護費の引き下げ撤廃と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書」については、4月から訪問介護報酬が引き下げられたことにより訪問介護事業所、特に地方や小規模事業所等が経営難になる恐れがあることや、訪問介護職員の人手不足及び厳しい労働環境が理解できるとし、採択すべきものとししました。

上記請願と陳情は14日開催の本会議にて全会一致で議決され、それぞれの関係機関に意見書を送付いたしました。

(社会文教委員長 中村 文映)

村議会視察 宮田村「議会の報酬・活動量調査」

6月28日宮田村へ朝日村議会議員5名・山形村議会議員6名で伺った。

宮田村議会は「議会改革度調査2022」並びに「議会改革度調査2023」において村で全国第1位に選出されている。

同議会では2020年4月改選後から、24年ぶりに議員報酬を改訂した。また、2021年4月から2024年1月まで活動量調査を実施した。これは宮田村むらづくり基本条例（議会の機能強化）の一つとして、議会活動・議員活動を見える化するとともに、今後の議員報酬のあり方を検討するための材料の一つとして実施された。活動は12項目で分類し分単位で毎日記録、月毎に集計・グラフ化して議員間で共有する。村民との懇談時に資料としても使用する。

単発的な取組みや特定の方向性ではなく、基本条例に基づく総合的かつ継続的な取組みを推進していく必要性を学んだ。

(齊藤 正法)



議会改革先進地 宮田村議会

先進地視察 松川村「小水力発電事業」

6月27日松川村へ朝日村議会議員7名で伺った。

松川村は令和6年5月27日に小水力発電事業の協働に関する協定を締結した。発電所は2026年以降の稼働開始を目指している。発電所は芦間川上流に第一、下流部に農業用水路を利用した第二、第三発電所を設置。年間発電量は計660万kwを見込み、固定買い取り制度（FIT）を活用して発電する。

第一発電所の発電分（180万kw）については、村が再生可能エネルギーとしての「環境価値」（トラッキング付き非化石化証書）を購入する予定。年間でCO₂排出量800トン相当の環境価値を創出。環境価値購入費は、発電所の固定資産税等でまかなえる。

発電所建設に伴い、用水路の改善整備や林道の改善、防災拠点としての活用、学校教育への活用が期待される。

(齊藤 正法)



議員有志での視察

一般質問

村政に問う!!

一般質問とは、議場において議員が日常活動と住民の声や疑問をもとに、村政全般にわたり行政の姿勢をたずねるものです。

こちらから動画でご覧いただけます。



ところが聞きたい 9 議員18項目

清澤 あゆみ 議員 (5頁)

- 1 小学校、保育園周辺地区の今後について

古池 美佐江 議員 (6頁)

- 1 行政の施策と住民の意向との相違について
- 2 空き家の利活用で移住・定住促進施策は

小林 弘之 議員 (6頁)

- 1 民家境壁破損問題について
- 2 地区役員見直しについて

清沢 正毅 議員 (7頁)

- 1 地区生活改善センター施設の維持管理と今後の課題対応
- 2 針尾防災センター構想について

清沢 敬子 議員 (7頁)

- 1 中央公民館周辺施設の在り方検討について
- 2 地域おこし協力隊の活用について

齊藤 正法 議員 (8頁)

- 1 有害鳥獣被害防止対策の推進について

中村 文映 議員 (8頁)

- 1 朝日村の文化財保護政策について
- 2 会計年度任用職員の処遇改善と人事制度について

羽多野 美映 議員 (9頁)

- 1 地域猫活動と多頭飼い問題の啓発と支援について
- 2 西洗馬防災センターに愛称を!
- 3 地区未加入者の増加が地区運営に影響を及ぼすことについて

豊田 恵美子 議員 (9頁)

- 1 「朝日村御馬越左岸小水力発電計画」について
- 2 鎖川の三俣上流域の環境保全について
- 3 アサヒマレットゴルフ場の今後について

問 昨年度まで古見区担当であった集落支援員はこの地区特有の問題を把握している。
問題解決のために集落支援員にも携わってもらえないか。

答 今後のこの地区のあり方について地域の方の声を聞く機会を設けてもらえるか。
総務課長 集まってもらう、アンケートを取る等して意見を聞き集約していく。

問 回覧板をもとの地区(加入地区)でなく居住区で回したいという意見がある。防災会の班編成を見直す必要があるという意見もある。防災会の班見直しに併せて防災会の班で回覧板を回すのはどうか。

答 新たな地区の発足を検討していく必要があると考える



清澤 あゆみ 議員

小学校、保育園周辺地区の今後について



援員も一緒に取り掛かった。この地区の実情を把握していることも認識している。区長、地区長、集落支援員を軸として今後どう取り組んでいくか話を進めていく。



古池 美佐江 議員

施策と住民の意向との相違について



答 長寿を祝う会では高齢者の方々のニーズとはズレが生じ、参加者が少なかつたことは大変残念であった。

問 長寿を祝う会は公民館分館主催の行事だが、教育委員会はどのように関わってきたか。

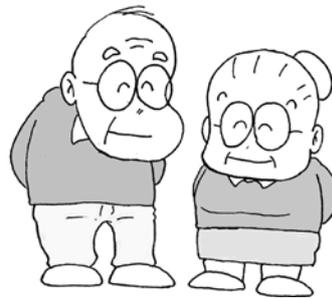
教育長 開催にあたっては2月・4月に分館長達と協議し決定した。5年ぶりに対面方式に戻したいという方向で進めた。今年の状況を振り返って村民の声を聴きながら見直しを図りたい。

空き家の利活用で移住・定住対策を

問 村の移住促進対策のための空き家の利活用施策はどのような状況か。

企画財政課長 空き家は個人の私有財産なので行政が主導的に利活用を進めることは難しいが、現行の空き家バンクの認知度をもっと向上させ制度の利用促進を進めていく。今までは賃貸のみだったので民間の不動産業者と連携を図り空き家の売買にも取り組んでいく。

建設環境課長 令和3年度の空き家調査は外観からの判断の調査にとどまっていたり、前回の調査から2年



半たっているので今年度新たに空き家情報を更新していく。

問 相続・空き家セミナーが開催されたが参加者が少ないようである。周知するために納税通知書に案内を同封するなどしているか。

建設環境課長 していないので、今後考えていきたい。



小林 弘之 議員

民家境破損問題について



答 個と個、民と民との話で解決を

問 村内にある住宅の境でもある塀が割れ崩れようとしている。地権者がその場所に住んでいれば直接話ができるが現在借家としているため、なかなか連絡が取れず話し合いにたどり着けないのが現状。そこで質問する。

役場は相手地権者への連絡手段はもっているのか？

建設環境課長 相手地権者の連絡先について、村は法務局同様の登記情報を持っている。しかし行政は隣接する不動産の所有者間の問題には介入できないため、相手方に連絡を取るといことはしていない。

問 村民が困っている現状を相手に知らせてあげる助言的なことを言うてあげるべきでは？

副村長 あくまでも個人と個人の境の話。民法上、相隣関係という話になる。今回のケースで例えばこういうことだと教える、或いは指し示すことは行政上公務員の職責上できない。



境擁壁の現状

問 私の心配しているのは大規模地震が起これば事故が起きてしまう。そんな事を心配してこの問題を取り上げさせていただいた。

副村長 これは個と個、いわゆる民と民との話し先ずは口火を切っていただくそこに尽きると思う。



清沢 正毅 議員

地区集会施設耐震化工事も補助対象に！



答 地域コミュニティ活性化には必要な施設、新たな補助基準を検討する

問 現状各地区において地区生活改善センター（集会施設）の多くが老朽化し耐震性も危ぶまれている。また少子高齢化により増々施設利用の機会が少ない事が予測され、施設改修に大きな費用を掛けてまで利用継続すべきか大きな課題となっている。村で4月集会施設環境改善事業補助交付要綱を作成し、補助制度を施行したが、耐震化工事は対象になっていない。耐震化工事も補助対象としてはどうか？ それによって地区は施設を継続使用すべきかの判断材料となる。

企画財政課長 国県との絡みがあり小さな村独自では現状難しい。地区施設課題は地区独自で解決していただきたいというのが基本的な考え。
村長 地域コミュニティ活性化には必要な施設と考える。地域で話し合い施設の維持継続を判断したところには新たな補助制度も必要と考える。少し時間をいただいて検討したい。



問 針尾地震防災センター構想があるが、いつごろ何処へ設置を考えているのか

村長 現在の針尾集落センターの敷地では必要な機能が完備できない。西沢への砂防堰堤が出来れば土砂災害警戒区域から外れる区域が広がる。その中で新たな場所を決めたい。



清沢 敬子 議員

中央公民館周辺施設の在り方検討



答 中央公民館を軸に集約していく方向で、村民による検討委員会を立ち上げる

問 集約化することになった経緯とかかる費用は？

教育次長 複数の施設が隣接し、老朽化が同時進行している現状を鑑みると、この機をとらえ、集約検討する時期である。シミュレーションを行い比較をする中で、使いやすさ、管理運営の効率性、施設面積の縮減、インシヤル・ランニングコスト面でも有利である。補助金などの財源も検討する。

問 検討委員会のメンバーは？

教育次長 公民館利用者を中心とした本館・分館関係者、子育て支援センター、図書館協議会、各サークル団体、障がい者団体、PTA、防災関係者等から選出。一般公募も予定。サークル団体等へは、若い方の選出を依頼するとともに、中学



公民館周辺の公共施設

生・高校生・20歳前後の皆さんとのワークショップ等を行う。

地域おこし協力隊の活用について

企画財政課長 現在は新たな登用は考えていないが、必要とされる人材の登用は積極的に取組んでいく。

問 活動報告会・意見交換会をしたかどうか？ また、協力隊と移住者の集まれる拠点を持ったらどうか？

企画財政課長 住民に対する報告会等も必要。活動中の協力隊2名を中心に、村の施設「かぜのわ」を拠点として、継続的な活動をサポートしていく。



齊藤 正法 議員

「ツキノワグマ出没注意報」の対応は？



答 H P や防災無線で注意喚起を行っている。

問 有害鳥獣被害状況は？

答 農業被害額は34万1千円。被害は増加傾向と考えている。駆除の内訳は、クマ2頭（駆除1頭、学習放獣1頭）、タヌキ1頭、サル19頭、カラス57羽。

問 鳥獣防止柵の保守状況は？

答 針尾地域において、経年劣化による電線の張替えを計画。破損個所については、補修額が大きいものは時間を要するが、軽微なものは直ぐに修繕を行う。

問 クマ被害防止対策の状況は？

答 クマゾーンニング地域区分管理を実施。地域住民との対策の役割分担を計画的に行い、人とクマの住み分けの効果が期待される。住宅に近い場所を排除地域とする。農地と山林が混在する地域は干渉地帯として、刈払いや誘引物の除去を行い見通しの良い状況を作る。



問 クマ出没に関する教育委員会の対応は？

答 通学路沿いの藪等については、産業振興課と一緒に危険な場所を把握し、学校へ伝えていく。

問 今後の対応は？

答 防止柵の定期的な管理と捕獲檻の設置を行う。村民の皆様には誘引物の除去や追い払いの協力をお願いしたい。ニホンジカの被害拡大が懸念、警戒と対策が必要と考える。



中村 文映 議員

現在文化財指定の調査及び検討はしているか



答 光輪寺仁王門の認定要請が出ているので、今年度調査費を計上した。

問 歴史的建造物の修復や保存に費用の補助はあるか。

教育次長 古川寺観音堂の火災報知器や薬師堂のかやぶき屋根の修復等「文化財保護事業補助金交付要綱」の範囲で補助をおこなってきた。

問 光輪寺仁王門の文化財指定は可能か。

教育次長 お答えは難しい。指定要請が出ているのでまず調査し、文化財保護委員、教育委員会で判断させていただきます。



阿吽の相をなす二体の光輪寺仁王像

問 村民所蔵の貴重な古文書等の散逸を防ぐシステムが必要では

教育次長 貴重な歴史的資料が処分されてしまつのは問題だ。村でも歴史資料の散逸を防ぐ呼びかけやシステムを考えていきたい。

問 村に古文書等保管場所は十分あるか

教育次長 保管場所が現在無い。課題であり今後どう管理していくか検討していきたい。

会計年度任用職員には昇給があったのか

総務課長 昇給は無かった。ただ、県の最低賃金が上がったのでそれに準じた改定は行った。

問 同じ職場で働きながら正規職員との差が開く一方ではないか。

村長 現段階で致し方が無い構造だ。労働条件を納得して働いて頂いている。当面は現状のままでもいいかざるを得ない。



羽多野 美映 議員

地域猫・多頭飼育対応は？



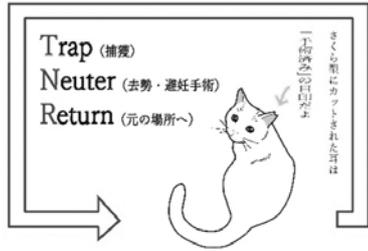
答 全国的な問題と認識、保健所や環境審議会と協議する。

問 住民からの苦情等、現状把握は？

建設環境課長 猫に関する苦情は年に一件程度。現状把握できていない。

問 社会問題として増えてくる地域猫や多頭飼育の問題、啓発活動を行うための研究をすべきでは？

建設環境課長 猫の問題は勉強不足。啓発については早急に取り組み。



西洗馬防災センターに愛称を

問 「西洗馬防災センター」全村民が利用できる施設であるため、愛称設定を検討すべきでは？



豊田 恵美子 議員

山と川を守り維持する取組を



答 同感だ。小水力発電が、自然を損なうようなら推進はしない。

問 御馬越小水力発電計画は自然を破壊するのではないか。

村長 日本水力㈱案は、様々な懸念事項が全て解決され、自然を損なわない設計だと考えている。

問 当初、県企業局案と日本水力㈱案の計画説明があり、県企業局の計画は、減水区間がなく魚や自然への影響が少ない案であったが、県企業局案はどうなったのか。

前建設環境課長 今年の3月定例会後に、県企業局に問い合わせたところ、保留中と回答があった。

問 県企業局案は、補助金一千万円とのセットで、村にとっても、自然環境にも、良い案だと考えられる。一方、日本水力㈱案は、村に利益があるのか。

村長 固定資産税が村の収入になるが、一番大事なことは、地球環境を維持するためのCO₂削減効果が大きいことだ。

問 奈良井川漁協は、日本水力㈱案になぜ合意しないとお考えか。

村長 減水区間が生じること、が理由のようだ。奈良井川漁協は水量等について質問し日本水力㈱は回答をしたが、反対の一点張りであり、反対の根拠はないと考えている。村としても漁協に補足説明を行うつもりだ。



野俣沢第三堰堤

5/21 令和6年度 全国町村議会・議長・副議長研修会

去る5月21日に東京国際フォーラムで全国町村議長会が開催されました。

当村からは私と、小林弘之副議長の2名が出席し、全国から総勢2000名の町村議長・副議長が一堂に会しました。研修内容は「議員のなり手不足は住民自治の危機」・「ハラスメント。自治体議員が注意すべきポイント」そして「将来の地方議会を担うのは誰か？」の3つの講義を受けました。特に印象深かったのが、ハラスメント。

言葉を発信した本人は相手を思い叱咤激励のつもりで話したとしても、受けての相手が恐怖や不快感を感じたのであればそれはハラスメント発言。このことは議員だけの問題ではなく、行政職員、ひいては、議員を応援して下さっている地域住民の皆様も同じことが言えます。昔と今では様々な意味で価値観や感受性が変化しつつあります。今の時代に沿った対応がとても重要なのだと改めて考えさせられました。日本国憲法の13条「すべての国民は個人として尊重される」。この意味をしっかりと理解し今後の議員活動に活かしていきたいと思えます。(北村 直樹)



正副議長が出席

7/12 長野県町村議会議員研修会

7月12日、キッセイ文化ホールで行われ全員が出席した。

大正大学教授 江藤俊昭氏の講演では「議員のなり手不足に潜む3つの危機」について年々増加する無投票にも触れられた。朝日村は一般選挙における無投票町村数割合27.4%に含まれる。議員のやりがい・環境・待遇の改善等、取組む課題は多い。

また月間『ソトコト』編集長、指出一正氏の「私たちはローカルで幸せを見つける～関係人口とリジェネラティブ」と題した講演では、キーワードは「ゆらぎ」(魅力・心地よさ)。若者がゆらぎ、自分が見つけたお気に入りの地域と楽しく関わり関係人口化する。リジェネラティブとは、よりよく再生させること。従来の場所や仕組みを改善し、人がより幸せになるための取組や地域づくりの事例紹介があった。朝日村の魅力づくりと関係人口増を考えていきたい。



県下町村議会議員が参加

(清沢 敬子)

議員 活動報告

地域を目で見えて聞いて参加して

議員は、議員活動日誌のとおりたくさんの諸会議・行事・研修及び視察を行っています。このコーナーでは、主な活動について報告します。

議会活動日誌

4月

- 1 月 消防団任命式
- 3 水 あさひ保育園入園式
- 4 木 朝日小学校入学式
- 10 水 全員協議会・議会運営委員会
- 11 木 西洗馬防災センター竣工式
- 18 木 教育委員会との懇談・診療所開業医選考基準選定委員会

5月

- 10 金 朝日村鳥獣被害対策協議会・東筑摩郡議長会臨時総会
- 12 日 朝日村消防団総合訓練 **11P**
- 14 火 商工会通常総会
- 15 水 全員協議会・議会報酬審議特別委員会・公共交通運賃協議部会
- 19 日 長寿を祝う会
- 21 火 全国議長・副議長研修会 **10P** 土地開発公社理事会
- 24 金 農業振興地域整備促進協議会
- 28 火 議会運営委員会・農業再生協議会
- 29 水 松本地域公共交通協議会
- 31 金 塩尻・朝日防犯協会連合会定期総会

6月

- 1 土 小学校運動会 **1P**
- 2 日 テレビ松本創立50周年記念式典・祝賀会
- 4 火 6月定例会開会 本会議・全員協議会 **P2~P3**
- 7 金 常任委員会 **4P**
- 11 火 本会議 一般質問 **P5~P9**
- 14 金 本会議 閉会・行政視察 **3P**
- 18 火 くりあげ場工区圃場整備竣工式
- 20 木 水神祭
- 24 月 社協評議員会
- 25 火 行政改革推進委員会
- 26 水 空き家対策協議会
- 27 木 松川村視察 **4P**
- 28 金 宮田村視察 **4P**

5/12 朝日村消防団総合訓練

5月12日朝日村消防団総合訓練が行われた。第一部は中央公民館講堂において山形消防署消防士長の木下祐太郎氏から「倒壊家屋における救助対応について」と題し、倒壊家屋の下敷きになっている人の救助方法について身近な道具（車のジャッキ等）を使用した具体的な救助方法を学んだ。秋には実施訓練をする予定とのこと。第二部では運動広場グラウンドで部隊訓練、分列行進、ポンプ操法も披露された。



ポンプ操法

全団員(163名)がこうして日頃から訓練に励んでいることに感謝したい。

(古池 美佐江)

7/4 村内施設美化活動

7月4日、全議員で朝日村美術館・縄文村公園の草刈り、植込剪定、窓拭き等を行った。昨年まで、草刈り作業を行っていたが今年は場所を変えての作業となった。

美術館山中館長よりご挨拶をいただき、作業開始。大きなブナの木やクヌギの木々が茂る緑陰のもとで約2時間汗を流した。

村内はもとより、村外から高く評価されている美術館で企画展には公共交通機関の問い合わせも多い。素晴らしい場所なので、くるりん号を利用して、気軽に訪れていただくと嬉しい。

(豊田恵美子)



美術館窓拭き



剪定

村民の声



西洗馬区長
塩原智恵美さん
皆で手を取り合って

4月から西洗馬区長を拝命しました。就任早々課題山積で、追われる日々に対応するのが精一杯の毎日でした。

朝日村防災センター竣工に伴う指定管理者としての地域の合意形成。区の規約を制定し村との協定書締結の手続き。そして同時進行した西洗馬公民館解体の手続き。益も正月も一緒にやってきたこれらの事柄は区の運営委員を始め関係の皆様の甚大なご理解とご協力で何とか乗り越えようとしております。感謝です。

公民館解体に伴い書類の整理をしました。明治・大正・昭和と歴代区長を始め分館長、婦人会長の記録簿が保管されておりました。そこには西洗馬公民館が皆の拠り所として集い笑い、時には議論して地域づくりしていた姿がありありと浮かんできました。西洗馬防災センターも先人たちが築いたように、愛される施設として魂を入れていくのはこれからです。そうした環境を整えていきたいと思えます。

我がむら再発見!

村内の施設やイベントに議員が訪問してその取組や要望を聞く地域密着のコーナー

第21弾 みなさんが知らない新たな取り組みをご紹介します 朝日村ビーツプロジェクト



色鮮やかなビーツ



レトルトのボルシチ

我が朝日村では30年以上にわたるビーツが栽培され、その品質は日本に住むウクライナの方も驚くほどだそうです。しかし高い栄養価にもかかわらず、食べ方がわからないせいとかほとんど普及していません。そんなビーツの普及と特産品化を目指し令和5年春にプロジェクトを発足。令和4年秋のボルシチまつりのレシピを参考にレトルトのボルシチを作るべく試作開始。あのビーツの鮮やかな色をそのまま出したいとこだわり、肉・野菜の分量、カットの仕方、大きさ、また食べたいと思う味を追求して何回も試作。この春ようやく完成。パッケージデザイン、ビーツのロゴを村内のデザイナー関係者に依頼。ついに8月発売予定となりました。ファミリーマート信州朝日村店とアイシティ21に並びます。ぜひご賞味あれ!

(清澤 あゆみ)

編集後記

「とりあえずやってみればいいじゃん」私はこの言葉が好きだ。前向きな友人がよく言う言葉。「やらないで後悔するよりやって後悔するほうがいい」とも。立ち止まって考えるときよくこの言葉を思い出す。とりあえず動いてみる。そこから見えるものもある。子どもたちはもちろんのこと大人になつてからだって挑戦できる。挑戦すればいい。そんな人たちがいる朝日村はきっとおもしろい。そんな人たちを応援していきたい。多くの人にとりあえずやってみよう!と思える、それを受け入れる朝日村であるよう動いていきたい。

(清澤あゆみ)



こちらから朝日村議会のホームページを御覧いただけます

発行責任者 北村 直樹
編集委員 小林 弘之
委員長 羽多野美映
副委員長 中村 文映
委員 清澤あゆみ
委員 清澤 正毅